

平成30年度 医療分野の研究開発関連予算のポイント

健康・医療戦略推進本部の下で各省が連携し、医療分野の研究開発を政府一体で推進。

健康・医療戦略※1、医療分野研究開発推進計画※2の実現を図る。 ※1:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更
※2:平成26年7月本部決定、平成29年2月一部変更

	30年度決定	29年度当初(注1)	対前年度	
			増△減額	増△減率
日本医療研究開発機構(AMED)対象経費	1,266億円(文603、厚475、経183等)	1,265億円(文603、厚475、経183等)	+1.0億円	+0.1%
インハウス研究機関経費	759億円(文260、厚414、経85)	(注2) 777億円(文253、厚435、経88)	△17.9億円	△2.3%

▶ 上記経費に加え、内閣府に計上される「科学技術イノベーション創造推進費(555億円)」の一部(175億円)を医療分野の研究開発関連の調整費として充当見込み。

(注1)この他、平成29年度第1次補正予算にAMED対象経費として325億円(内300、厚25)、インハウス研究機関経費として6億円(厚)を計上。

(注2)29年度当初予算のインハウス研究機関経費には、国立医薬品食品衛生研究所に係る移転経費(22億円)が含まれている。

※ 精査により計数に異動が生じる場合がある。

主な取組

1. 横断型統合プロジェクト

- ① オールジャパンでの医薬品創出プロジェクト 260億円<AMED209億円、インハウス52億円>

 - 革新的医薬品創出に向けた研究開発の充実を図るとともに、創薬ターゲットの同定等に係る研究等を推進する。
 - 一画期的なシーズの創出・育成に向けた研究開発の推進
 - 一AIの活用に資する産学共同知識ベースの新たな構築による創薬支援インフォマティクスの拡充等を通じた創薬支援ネットワークの支援機能の強化
 - 一疾患登録情報を活用した臨床開発インフラの整備
 - 一創薬標的の多様性に応じた創薬技術や開発環境の整備
- ② オールジャパンでの医療機器開発プロジェクト 129億円<AMED>(一部再掲)

 - 新たに競争力を有した世界最先端の革新的医療機器の開発・事業化を推進するとともに、医療機器開発の企業人材育成等も着実に推進する。
 - 一ものづくり力を結集した日本発の優れた医療機器等の開発・事業化の推進
 - 一臨床現場における実践的な人材の育成
- ③ 革新的医療技術創出拠点プロジェクト 86億円<AMED>

 - 医療法に基づく臨床研究中核病院や橋渡し研究支援拠点を積極的に活用し、革新的な医薬品等の開発や人材育成を推進する。
 - 一臨床研究・実用化へ橋渡しができる拠点の整備
 - 一臨床研究計画の作成等を支援する生物統計家及び臨床研究を実施する医師等の育成
 - 一国内ARO※の客観的評価公開による活用と海外ARO機能の調査
 - 一中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会の基盤整備を推進

※ARO: Academic Research Organizationの略
- ④ 再生医療実現プロジェクト 157億円<AMED>(一部再掲)

 - 安全性確保に向けた研究開発、臨床研究・治験の活性化、臨床品質の細胞ストックの整備、iPS細胞等を活用した創薬研究等を実施し、企業等による製品化を支援し、実用化を促進する。
 - 一臨床研究段階への移行
 - 一細胞製造技術開発など実用化に向けた産業基盤整備
 - 一再生医療とコンピューター技術等の科学技術との融合による再生医療とリハビリの相乗的な治療効果増強を目指す研究を支援
- ⑤ 疾病克服に向けたゲノム医療実現プロジェクト 122億円<AMED104億円、インハウス18億円>(一部再掲)

 - ゲノム医療実現推進協議会の方針に基づいた取組を推進する。
 - 一ゲノムバイオバンクの利活用促進、オミックス解析等を用いた多因子疾患研究の推進
 - 一臨床ゲノム情報統合データベースの管理運営
 - 一ゲノム情報を活用した新規創薬ターゲットの探索
 - 一臨床ゲノム情報を実際の診断で活用するための診療基盤整備

2. 疾患領域対応型統合プロジェクト

- ⑥ ジャパン・キャンサーリサーチ・プロジェクト 160億円<AMED>(一部再掲)

 - 医療分野研究開発推進計画の下、「がん研究10か年戦略」に基づき、患者や社会のニーズに合ったがん研究を推進する。
 - 一アンメットメディカルニーズに応える新規薬剤の開発
 - 一ライフステージやがんの特性に着目した重点研究の推進
 - 一患者に優しい新規医療技術開発の推進
 - 一がんの予防法や早期発見手法に関する研究の推進
- ⑦ 脳とこころの健康大国実現プロジェクト 71億円<AMED>(一部再掲)

 - 精神・神経疾患の克服に向けた戦略的国際連携や認知症等の対策に資する新たな研究開発を開始する。
 - 一脳科学研究における国際連携を加速するための体制構築
 - 一霊長類の高次脳機能を担う神経回路のニューロンレベルでの全容解明
 - 一認知症のメカニズム解明と診断・治療法等の開発
 - 一精神医療の診療方法の標準化及び依存症対策等の推進
- ⑧ 新興・再興感染症制御プロジェクト 70億円<AMED53億円、インハウス17億円>(一部再掲)

 - エボラ出血熱等の一類感染症等に関する研究を含む新たな診断薬、治療薬及びワクチンの開発等に資する研究を推進する。
 - 一インフルエンザ
 - 一デング熱
 - 一薬剤耐性菌
 - 一下痢症感染症
 - 一エボラ出血熱等の国際的に脅威となる感染症
- ⑨ 難病克服プロジェクト 124億円<AMED>(一部再掲)

 - 医師主導治験及び治験移行を目的とした非臨床試験を推進する。疾患特異的iPS細胞を用いた病態解明等に係る研究開発を一層推進する。
 - 一未診断疾患を切り口とした新規原因遺伝子の同定、新規疾患概念の確立
 - 一難病研究班の情報を集約した基盤構築と二次活用の促進